

○ 本校の概要

開校39年 児童数150名、6学級、 サポートルーム拠点校 教員数16名(巡回指導教員3名)、 スクールカウンセラー1名、 特別支援教育専門員1名、 事務2名、 栄養士1名、 用務主事3名、 時間講師2名、 学習指導講師1名、 学校特別支援員1名、 副校長アシスタント1名、 読書学習司書1名、 教員支援員1名 校内研究 研究主題「友達と関わり合いながら学びを深める児童の育成」 副主題「主体的に学ぶための工夫を通して」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 (未来社会を創造的に生きる子供の育), ブラン2 (児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます。), ブラン3 (子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます。), ブラン4 (スポーツに親しむ心や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。), ブラン5 (児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり), ブラン6 (学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。)

○「成果指標」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。